2018 年度調査研究事業
女性の労働に関する調査研究事業
起業女性のニーズ調査
～起業準備段階から軌道に乗るまでの課題と
求める支援に関して
(中間報告)

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

女性の労働に関する調査研究事業研究会

2019 年 3 月 31 日

2018 年度調査研究事業

女性の労働に関する調査研究事業

起業女性のニーズ調査

～起業準備段階から軌道に乗るまでの課題と求める支援に関して
(中間報告)

■目次■

1. 経緯	p 1
2. 本調査研究事業の目的	p 2
3. 受託事業「起業スターターズ・プロジェクト」の概要	p 2
4. 女性の起業連続セミナー修了生・追跡調査の概要	p 4
5. 女性の起業連続セミナー修了生・グループインタビューの概要	p 6
6. 中間報告まとめ	p 14
7. 附属資料	p 16

1. 経緯

1) 自由度が高く専門性を活かせる働き方としての起業

現在、就業者の中で最も多くを雇用労働者（2014年女性 89.3%・男性 87.2%）が占め、一方で自営業主の割合は少ない（2014年女性 5.2%・男性 11.4%）。¹ 雇用労働者はさまざまな法律に守られて安定しているが、労働時間や勤務場所などの制約が多く自由度は少ない。そのため固定的な性別役割分業意識を背景にして、働く意欲があっても家事・育児・介護および夫の転勤などを理由に雇用労働に留まることができない女性が存在する。

さまざまな事情を抱えているために雇用労働という働き方に合わせられない女性の中で、自分の持つ能力を活かしたいと思う女性ほど、自由度が高く専門性を活かせる起業という働き方に魅力を感じるのも当然だと思われる。更に、近年のインターネットの発達によって少額の投資で起業を始められる環境が整ってきたことも、起業という働き方への関心を高めていると考えられる。

2) 起業をめざす女性への支援事業に取り組んで

当財団が、起業をめざす女性支援を中期的に行う契機となったのは、豊中市の「地方創生推進交付金事業一億総活躍社会実現のための豊中市チャレンジ就労支援事業『結婚・出産等で離職した女性の就労促進事業』業務」の受託であった。この事業は、再就職をめざす女性を対象にした事業と起業をめざす女性を対象にした事業の2事業から成り立ち、2016年度から2018年度までの3年に及んだ。

すてっぷ設立当初から、女性の就労支援事業として社会情勢などを考慮しながら多様な対象と内容の事業を実施してきた。起業をめざす女性を対象とした事業についてはしばらく実施していなかったため、本事業の初年度は、外部の関係機関などの協力を得て近年の女性起業家の傾向をつかみ、プログラムの構成や講師の人選などを検討しつつ事業を実施した。

3) 3年間の事業を振り返り今後に活かす

実際に起業している女性が少ない中で、起業をめざす女性たちに必要なものとして「専門家からのアドバイス・先輩女性起業家との出会い・起業をめざす仲間とのつながり」を想定し、3年間の事業を実施してきた。

事業を終えた今、これまでを振り返り、参加者にとって効果的な事業であったのかをこの調査研究事業で確認したい。そのうえで、今後の事業として何ができるのかを考える手がかりとしたい。

¹ 『男女共同参画白書 平成27年版』 内閣府 2015年

2. 本調査研究事業の目的

起業という働き方を選択した女性の現状を把握することをおして、これまで受託事業として行った、起業をめざす女性を支援する事業を検証する。さらに、調査対象を受託事業の修了生以外にも広げ、起業をめざす女性の課題と求める支援ニーズを明らかにし、今後の財団事業に活かし、豊中市の関係機関にも情報を提供する。

起業をめざす女性が自らの起業をどのように考えているのかを明らかにするとともに課題を整理し、今後の事業を展開する際の根拠となる基礎データとする。

3. 受託事業「起業スターターズ・プロジェクト」の概要

1) 地方創生推進交付金事業一億総活躍社会実現のための豊中市チャレンジ就労支援事業「結婚・出産等で離職した女性の就労促進事業」業務の概要

i) 地方創生推進交付金事業の趣旨

本事業においては、市は安定した雇用や地方への新しい人の流れ等の創出に向けて、地域の特色や地域資源を活かした住民に身近な施策を実施することとなり、受託者は事業の実施にあたっては地方創生推進交付金制度要綱及び国の関係機関通知のほか、以下の記載事項を遵守し業務を実施すること。

ii) 基本的な考え方

本事業は、結婚・出産等で離職した30～40代の女性を対象として、ICTスキル等を引き上げ、再就職や起業を推進するものである。

iii) 事業内容

- ・豊中市や公共職業安定所等と連携を図りながら、再就職や起業に関する相談支援を行うこと
- ・パソコン操作やWEB活用といったICTのスキルアップに繋がる講座の開催や就職活動に必要な情報提供を行い、再就職支援を行うこと
- ・起業に必要な知識やノウハウを学ぶための講座を開催し、女性の社会参加を促進すること

iv) 実施事業…異なる2つの就労をめざす女性を対象に、それぞれに対応した支援事業を実施。

①女性の再就職支援「お仕事リターンズ・プロジェクト」

②女性の起業支援「起業スターターズ・プロジェクト」

v) 「起業スターターズ・プロジェクト」実施期間…2016年度から2018年度の3年間

- ・2016年度 11月～2017年3月

- ・2017年度 9月～2018年2月
- ・2018年度 10月～2019年1月

vi) 「起業スターターズ・プロジェクト」のプログラム詳細（年度単位）

- ・女性の起業プレ講座（全1回）…起業した女性の体験談
- ・女性の起業連続セミナー（全10回）…事業計画・販売戦略・Web活用・資金計画・社会保障・フェイスブックの使い方等を各専門家の講師から学び、自分の起業プランを発表
- ・グループ相談会（全7回）…起業の悩みを複数で起業連続セミナーの各講師に相談し情報を共有
- ・個別相談（全2回）…起業の悩みを個別に専門家に相談
- ・出店フェア（2016年度と2017年度1回・2018年度2回）…すてっぷでの出店

vii) 起業支援「起業スターターズ・プロジェクト」実施結果

- ・参加人数

	参加人数			
	2016年度	2017年度	2018年度	計
女性の起業プレ講座	40	37	36	113
女性の起業連続セミナー	35	35	27	97
グループ相談会	66	38	35	139
個別相談	13	9	10	32
出店フェア	24	24	65	113
計	178	143	173	494

- ・女性の起業連続セミナー修了生の出店人数（単年度末ごとの集計）

	2016年度	2017年度	2018年度	計
出店フェアへの出店人数	24	10	13	47

4. 女性の起業連続セミナー修了生・追跡調査の概要

1) 調査目的

2016年度～2018年度に財団が実施した「起業スターターズ・プロジェクト」の中のメイン事業である「女性の起業連続セミナー」のプログラムの効果を確認し、修了生の現状を把握する。

2) 調査概要

i) 対象

「女性の起業連続セミナー」修了生（初回のみ参加者は含めず）95人

内訳 1期生（2016年度受講）35人

2期生（2017年度受講）33人

3期生（2018年度受講）27人

ii) 実施方法

1期生・2期生：往復ハガキ（ハガキ返送、もしくはメールフォーム送信での回答）

3期生：講座終了時のアンケート（アンケート記入での回答）

iii) 実施期間

1期生・2期生：2018年12月3日～12月25日

3期生：2019年1月10日

iv) 質問事項

調査目的に沿って以下の質問を設定した（質問項目の詳細は附属資料参照）

・ 起業に対しての現状を確認する質問

①現在は起業についてどのような状態か

②どんな分野の起業か

・ 「女性の起業連続セミナー」のプログラムが効果的だったかを確認する質問

③女性の起業連続セミナーで役立ったもの

④セミナーで③の項目以外に取り上げて欲しかったこと

また、今後の調査への協力を呼び掛ける項目を設定した。

⑤グループインタビュー協力について

3) 調査結果の概要

i) 回答状況

対象者 95 人のうち 48 人から回答があった。

ii) 回答の特徴

各質問への回答は以下の特徴が見られた。

①現在では起業についてどのような状態か

「これから起業したいと思っている」との回答が全体で最も多かった。起業済と回答した人の内訳は、「セミナー受講前から起業し、継続中」が「セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中」よりも多かった。

「セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中」の人は1期が最も多く、2期と3期は今後増えることも考えられる。

②どんな分野の起業か

起業済の人と未起業の人のどちらも、分野はサービス業がほとんどを占めた。サービス業のうち、教室・講師業、サロン経営・技術提供、カウンセリング・コンサルタント業の割合が同数程度となった。

③女性の起業連続セミナーで役立ったもの

「ビジネスプラン(事業計画書づくり)」との回答が一番多く、次に「参加者同士の交流」が続いた。この二つのプログラムは、起業状況によらず評価が高かった。

一番回答が少なかったプログラムは「個別相談会」で、これから起業したいと思っている人と起業は考えていない人からの回答が少なかった。起業している層からは他のプログラムと並ぶ評価があった。

「役立つものはなかった」との回答はなかった。

④セミナーで③の項目以外に取り上げて欲しかったこと

SNSなどWebに関わるプログラムの希望が多く見られた。

⑤グループインタビュー協力について

17人より「協力してもいい」との回答があった。

5. 女性の起業連続セミナー修了生・グループインタビューの概要

1) 調査目的

2016年度～2018年度に財団が実施した「起業スターターズ・プロジェクト」の中のメイン事業である「女性の起業連続セミナー」修了生の、起業に向けた動きや抱えている課題、目標とその達成に必要な要素を知る。

2) 調査概要

i) 対象

「女性の起業連続セミナー」修了生

1期生（2016年度受講）、2期生（2017年度受講）、3期生（2018年度受講）

「すでに起業している」か「これから起業する」かで課題や目標が異なると仮定し、グループを次の二つに分けた。

グループA：セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中の修了生（※）

グループB：これから起業したいと思っている修了生

※本人が「起業した」と認識している状態

ii) 協力者決定の過程

以下の手順でグループインタビューの協力者を決定した。

- ①追跡調査内で1期生と2期生に協力を呼びかけ、17人から「協力してもいい」と回答を得た。
- ②3期生に個別に協力を依頼し、2人から「協力してもいい」と回答を得た。
- ③「協力してもいい」と回答した修了生のうち、グループAに該当する8人とグループBに該当する6人に、メール・電話でグループインタビューの日程を連絡し、参加の可否を確認した。
- ④参加の承諾を得たグループAの5人とグループBの4人を協力者として決定した。

iii) 実施方法

協力者へ事前確認の書類を郵送、メール添付で届け、あらかじめグループインタビューの目的、結果のまとめ方、個人情報の保護などについて伝えた。また、グループインタビューで使用するワークシートへの記入を依頼した。

グループインタビュー当日、調査目的や進め方などを記載したグループインタビュー協力者事前確認シートを調査者が読み上げ、説明し、協力者の同意を得た確認としてシート2部に署名をしてもらい、協力者とすてっぷで1部ずつ保有した。

座席配置は、協力者と調査者が島型テーブルにつく形にした。インタビューのガイドラインを説明した後、グループインタビューで使用する名前を各自で決めてもらった。

その後、ワークシートを用いて「現在の自分について」と「5年後の自分を想像してみる」について、協力者の話し合いを聴き取った。

<配布物>

- ・調査研究事業「女性の起業スターターズ調査」グループインタビューにご協力いただく方へ（事前確認）
- ・ワークシート1「現在の自分について」
- ・ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」
- ・調査研究事業「女性の起業スターターズ調査」グループインタビュー 進行表

<進め方>

- ・調査者2人で進行
- ・グループインタビューの目的を説明
- ・グループインタビューのガイドラインを説明
- ・グループインタビュー協力者事前確認シートによる協力の同意確認
- ・協力者に公開してもよい名前を決めてもらい、名札を作成
- ・自己紹介と起業内容、起業状況について話してもらう
- ・ワークシート1の記入内容を元に意見交換
- ・ワークシート2記入内容を元に意見交換
- ・まとめ
- ・今後のスケジュールの確認
- ・謝礼品（QUOカード）を贈呈

iv) ワークシート

調査目的に沿って以下の項目を設定した（ワークシートは附属資料参照）

- ・起業に向けた動きを知る
 - ①ワークシート1「現在の自分について」：起業のために準備してきたこと
- ・抱えている課題を知る
 - ②ワークシート1「現在の自分について」：起業のための準備で不足していること
- ・目標を知る
 - ③ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：目標
- ・目標の達成に必要な要素
 - ④ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：現実を目標に近づけるために必要なコト・モノ・ヒトなど

3) 調査結果の概要

i) 実施状況

グループ	起業状況	実施日時	協力者	実施会場
A	セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中の修了生	2019年2月1日(金) 10:00~12:00	5人	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ
B	これから起業したいと思っている修了生	2019年2月9日(土) 14:00~16:00	4人	
			計2回	9人

ii) インタビュー結果の特徴

◆グループA：セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中の修了生

名前(屋号・仮名可)	起業内容
井上はるみ (Pikake Jasmin)	オリジナル香水販売及びハワイアン雑貨の販売
武田美智代	学生服のリユースショップ
藤井ふみ子	整理収納サポートサービス
Amy	英会話教室
A	ライター、フードコーディネーター、日本酒のソムリエ

①ワークシート1「現在の自分について」：起業のために準備してきたこと

情報収集とスキルアップが共通して挙げた。

<情報収集>

- ・関連する業界で情報を得る
- ・同業他社のリサーチ
- ・市場調査、顧客のニーズ分析
- ・販路の勉強

<スキルアップ(起業するための全体的なもの)>

- ・「女性の起業連続セミナー」で基本的なノウハウを学ぶ
- ・「女性の起業連続セミナー」以外のセミナー等でノウハウを学ぶ

<スキルアップ(起業内容に関連したもの)>

- ・資格取得
- ・専門学校への通学
- ・会社員としての経験

<その他>

- ・設備投資

- ・許可申請
- ・資金集め
- ・在庫の確保
- ・コンサルタントへの相談
- ・人脈づくり、交流
- ・広報

②ワークシート1「現在の自分について」：起業のための準備で不足していること
集客方法（販路の開拓）や家族の理解が多く挙がった。

<集客方法（販路の開拓）>

- ・人脈がない
- ・広報が行き届いていない
- ・計画的に販路が確保できていなかった
- ・IT活用ができていない

<家族の認識>

- ・会社員である夫と環境が違い、夫が現在の環境を変えることに抵抗がある
- ・自分自身に「家事をしなければならない」という意識がある
- ・家族を納得させる説明ができない
- ・収益が未知数で家計への影響がわからない

<社会のジェンダー観>

- ・「女性が働くのは当然」という意識が足りていない

<リスクマネジメント>

- ・詐欺サイトの被害にあっている
- ・女性が一人で仕事をするもののリスク

<資金、収益>

- ・資金不足
- ・経費に対する意識が不足していた
- ・スタート時の無料体験の設定が甘かった

<その他>

- ・情報収集が不足していた
- ・設備投資が不足していた
- ・経営スキルが不足していた
- ・在庫が不足している

③ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：目標

仕事面と暮らし面で以下のような目標が上がった。仕事面では「事業の拡大」と「収益

を上げる」点が共通していた。暮らし面は家族の状況による違いがあった。

<仕事面>

- ・事業の拡大
 - 事業内容を広げる
 - 事業規模を広げる
 - 事業の理念を社会へ広げる、地域で役立てる
- ・収益を上げる
 - 単価を上げる
 - 販路を拡大する

<暮らし面>

- ・地域コミュニティへ参加する
- ・しっかり休みをとる
- ・子どもの手が離れて仕事に比重を置く
- ・夫の定年退職する予定のため、起業した仕事で自活できるレベルにする
- ・収入を安定させる

④ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：現実を目標に近づけるために必要なコト・モノ・ヒトなど

以下の意見が上がった。

<仕事面>

- ・事業の拡大に向けて
 - スタッフの雇用
 - 仕事の外注
 - 仕入れを充実させる
 - 人脈を広げる（事業の目標に沿ったコミュニティへ参加する）
- ・収益を上げる
 - スキルアップ（提供する技術の向上、提供する情報のクオリティの向上）
 - 顧客を増やす（SNSの活用、メディアへの露出、書籍出版）
- ・その他
 - 情報収集
 - 起業家同士のつながり
 - 事業の軸を見つめなおすセミナー

<暮らし面>

- ・家族の理解、家事分担
 - 起業に対して本気であることを家族に浸透させる
 - 事務手続きなどをあえて見せていく

事業の収入を家計に入れる

- ・個人事業主への理解

保育所での理解

プライベートを犠牲にしない働き方を社会へ提示する

◆グループB：これから起業したいと思っている修了生

名前（屋号・仮名可）	起業内容
ぱぴぷぺぽ	多世代の居場所作り
タナカ	社会保険労務士
MAGNET	コーチング
ヨシコ	アロマサロン

①ワークシート1「現在の自分について」：起業のために準備してきたこと

協力者により違いがあり、以下の項目が挙げた。

<情報収集>

- ・関連する研修会等への参加

<スキルアップ（起業するための全体的なもの）>

- ・「女性の起業連続セミナー」でビジネスプランを作成
- ・コンサルタント、コーチングを受けた

<スキルアップ（起業内容に関連したもの）>

- ・資格取得

<その他>

- ・人脈づくり（SNS、研修会等への参加、起業家の集まりへの参加、公共との繋がり）
- ・宣伝（LINE@、ブログ、SNS、地域活動への参加）
- ・セミナー講師
- ・設備投資
- ・メニュー作成、価格設定
- ・友人へのモニター

②ワークシート1「現在の自分について」：起業のための準備で不足していること

複数の協力者が仕事と生活のバランスについて挙げた。

<仕事と生活のバランス>

- ・健康面での不安
- ・家族の状況
- ・子どもの預け先の確保
- ・本業とのバランス

<スキル>

- ・提供できる技術、知識
- ・ITスキル

<その他>

- ・価格設定
- ・ホームページ作成
- ・事業所の確保

③ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：目標

<仕事面>

- ・企業を顧客にする
- ・事業所が確保できている
- ・従業員は増やさず事務を外注する
- ・スキルを活かして地域貢献する
- ・地域の拠点、居場所として機能する
- ・収入面で自立する
- ・本業とバランスを取る

<暮らし面>

- ・母子分離が進む
- ・プライベートを充実させる
- ・語学学習
- ・地域との関わりがある

④ワークシート2「5年後の自分を想像してみる」：現実を目標に近づけるために必要なコト・モノ・ヒトなど

協力者により違いがあり、以下の項目が挙げた。

<仕事面>

- ・資金を集める
- ・事業計画を練る
- ・資格取得
- ・実績を積む
- ・広報、人脈を広げる
 - 営業をかける
 - 口コミ、紹介で顧客を増やす
 - ブログ、ホームページ、SNSで発信する
 - 異業種とつながる

イベントの実施

<暮らし面>

- ・ ネットで仕事を完結させる
- ・ 両親以外の子どものサポート体制
- ・ 仕事と家庭のバランスを取る
- ・ 家族を大切にする
- ・ 体力がある、体調が整っている

6. 中間報告まとめ

1) 女性の起業支援のニーズ

2016年度から2018年度にかけて財団が実施した「女性の起業スターターズ・プロジェクト」の事業「女性の起業連続セミナー」はいずれの年度も定員を超える申し込みがあり、女性の起業支援のニーズの高さがうかがえた。97人がセミナーを受講し、豊中市の起業に関心のある女性の掘り起こしにつながった。

2) 追跡調査から見えたこと

回答者の8割以上が起業した事業を継続、もしくは起業に向けて準備を続けていることがわかり、意欲の高さがうかがえた。

プログラムでは起業のベースとなる「ビジネスプラン（事業計画書づくり）」の評価が高く、基礎から起業を学べる場が必要とされていることがわかった。「役立つものはなかった」との回答はなかったことから、適切な支援が提供できたと考えられる。

また、「参加者同士の交流」が役立ったとの回答も多く、プログラム以外にも価値が見いだされていた。

3) グループインタビューから見えたこと

「セミナー受講中、もしくは受講後に起業し、継続中の修了生（グループA）」と「これから起業したいと思っている修了生（グループB）」で共通する点、違いが出た点があった。

起業の準備は、両グループ共通して情報収集とスキルアップに力を入れていた。起業の準備で不足している点は違いがあり、グループAは起業に対する家族の認識不足を感じているのに対し、グループBは生活と仕事とのバランスの取り方で準備不足を感じていた。

5年後について、グループAは現在の事業の延長線上に目標を立てており、また、達成するためにどういったことが必要になるのか具体的に考えている傾向があった。グループBは起業の準備段階であるため、目標とその達成に対して必要な物事の間ギャップも見られた。

どちらのグループも、人脈づくりやモチベーション維持として女性起業家同士や異業種との交流が必要だという声が複数あった。追跡調査の結果と同じく、交流が非常に重要視されている。

4) 今後の調査について

女性の起業を支援するにあたり、起業を基礎から学びたい女性に対してこれまでの財団の事業は効果的な事業だったことがわかった。受講時点で3割の女性が無職であり、出産や育児で離職した女性に起業という働き方を提案することができた。

今回の調査では、女性の起業とその家族の状況は密接に関係してくることが見えてきた。

相談室や情報ライブラリーがあるとよなか男女共同参画推進センターすてっぷで起業支援を実施することは、実務的な起業ノウハウを伝えるだけでなく、ジェンダーの課題をすくい上げて女性をエンパワメントし、課題解決につなげられると考える。

今後の本調査では、今回実施したグループインタビューを更に分析していく。また、女性の起業と家族の状況との関係性について、子育て中の女性起業家を対象を絞って調査する。

7. 附属資料

■「女性の起業連続セミナー」修了生・追跡調査 質問項目

あてはまるものにチェックをお願いします。

(1)現在起業についてどのような状態ですか。

- セミナー受講前から起業し、継続中
- セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中
- これから起業したいと思っている
- 一度起業したが、現在は中断している
- 起業は考えていない →(3)へ

(2)どんな分野の起業かお書きください。

()

(3)女性の起業連続セミナーで役立ったもの(いくつでも)

- ビジネスプラン(事業計画書づくり)
- 販売戦略
- Web活用
- 資金調達の基礎知識
- 登記、会計、資金計画、融資制度
- 年金保障、働き方
- ビジネスモデル発表
- フェイスブックの作り方
- グループ相談会
- 個別相談会
- 参加者同士の交流
- その他()
- 役立つものはなかった

(4)セミナーで(3)の項目以外に取り上げて欲しかった

ことがあればお書きください。

()

(5)グループインタビュー協力について

2019年1月下旬から2月上旬に修了生を対象にしたグループインタビューを予定しています。交流しながら現在の状況や今後の予定についてお話いただくものです。

- 協力してもいい →追ってご連絡いたします。

ご協力ありがとうございました

■女性の起業連続セミナー修了生・グループインタビュー ワークシート①

グループA（セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中の修了生）

2019/2/1(金)10:00~12:00

< 番号・仮名など: >

【シート1】現在の自分について

技術、人脈、資金、周囲の環境など	
起業のために準備してきたこと	起業のための準備で不足していること

■あなたの現状について(該当項目に○をつけてください) ※インタビュー内で本人の許可なく公開はしません。

- ・企業形態は 個人事業主 株式会社 有限会社 合同会社 NPO法人 一般財団、社団法人 その他()
- ・従業員数は 自分のみ 1人 2~4人 5~9人 10人以上
- ・事業場所は 自宅 自宅以外に店舗、事務所あり その他()
- ・事業収益は 50万円以下 50~100万円 100~300万円 300~500万円 500万円以上
500~800万円以上 800万円以上
- ・採算状況 黒字 収支均衡 赤字 その他()

グループB：(これから起業したいと思っている修了生)

2019/2/9(土)14:00~16:00

< 番号・仮名など: >

【シート1】現在の自分について

技術、人脈、資金、周囲の環境など	
起業のために準備してきたこと	起業のための準備で不足していること

【参考】以下は「セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中」の方への質問です。「これから起業する」方は回答不要です。

■あなたの現状について(該当項目に○をつけてください) ※インタビュー内で本人の許可なく公開はしません。

- ・企業形態は 個人事業主 株式会社 有限会社 合同会社 NPO法人 一般財団、社団法人 その他()
- ・従業員数は 自分のみ 1人 2~4人 5~9人 10人以上
- ・事業場所は 自宅 自宅以外に店舗、事務所あり その他()
- ・事業収益は 50万円以下 50~100万円 100~300万円 300~500万円 500万円以上
500~800万円以上 800万円以上
- ・採算状況 黒字 収支均衡 赤字 その他()

■女性の起業連続セミナー修了生・グループインタビュー ワークシート②

グループA（セミナー受講中もしくは受講後に起業し、継続中の修了生）

2019/2/1(金) 10:00~12:00	
<屋号・仮名など: >	
【シート2】 5年後の自分を想像してみる	
仕事(事業内容、企業形態、従業員数、事業場所、事業収益、採算状況など) 暮らし(私生活、仕事とのバランス、地域との関わりなど)	
	目標 現実を目標に近づけるために必要なコト・モノ・ヒトなど
仕事	
暮らし	

グループB：（これから起業したいと思っている修了生）

2019/2/9(土) 14:00~16:00	
<屋号・仮名など: >	
【シート2】 5年後の自分を想像してみる	
仕事(事業内容、企業形態、従業員数、事業場所、事業収益、採算状況など) 暮らし(私生活、仕事とのバランス、地域との関わりなど)	
	目標 現実を目標に近づけるために必要なコト・モノ・ヒトなど
仕事	
暮らし	